

# 比例区情勢

比例区(定数50)では、公明党の若松かねしげ、平木だいさく、新妻ひでき、山本かなえ、山本ひろし、かわの義博の各候補が最後の力を振り絞り、懸命の遊説を展開。

さらに全国各地で「公明党」への支持拡大に総力を挙げているが、2016年参院選比例区での公明党得票総数757万票に届いておらず、目標の「比例区6議席以上」の

獲得は微妙な情勢だ。

序盤戦から圧倒的優位に立つ自民党は分厚い保守層を着実に取り込み堅調。20議席を上回る可能性も出てきた。

一方、野党では、政権批判を強める立憲民主党が比例の投票先として高い支持率を維持し、改選議席から大きく増える見込み。国民民主党は党勢回復に必死。両党の獲得予想議席数を合わせると、

16年参院選比例区で旧民進党が獲得した11議席を上回る勢いだ。共産党は7議席以上を目標に、年金デマで有権者の不安をあおる卑劣な悪宣伝で票の掘り起こしに躍起。維

新は関西から全国へ、さ

らなる支持拡大を狙う。社民党も生き残りをかけ議席確保をうかがう。

こうした中、公明党は支持層をまとめつつあるが、男性層、保守層や無

党派層への浸透が遅れている。全国の友人・知人をはじめ、全人脈に訴え抜く圧倒的な拡大とともに、広げた「支持」を着実に「票」にする執念の猛攻が不可欠だ。

## 全国の友人・知人に「もう1票」の拡大急務